

2019年(令和元年)

9/25

No. 1184

東京都トラック時報

昭和43年8月16日 第三種郵便物認可 毎月2回(10・25日)発行 1部 90円(送料別)

機関紙

一般社団法人
発行所 東京都トラック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷3-1-8

(東京都トラック総合会館)

☎(03) 3359-6251(代表)

☎(03) 3359-4134(広報部)

《ホームページアドレス》<https://www.totokyo.or.jp/>

東ト協

「トラックフェスタTOKYO」2019

業界の役割を社会へ発信



子ども安全免許証発行&トラック職業体験

約3万2千人が来場

フェスタは、事業用トラックが暮らしや産業に必要な物資を運び、社会的に重要な役割を果たすとともに、交通安全や環境保全に努めていることを知ってもらい、業界に対する理解促進を図る目的で実施しているもの。

浅井会長は主催者あいさつで、台風15号で被害を受けた千葉県へ救援物資を送ることを決めた。

東京都トラック協会 浅井隆会長は9月14・15日、渋谷区・代々木公園で「トラックフェスタTOKYO 2019」親子で体験！安全と環境をテーマに、子供たちを連れたファミリー層を中心に、2日間で約3万2000人が来場した。会場(野外ステージ・イベント広場・ケヤキ並木)では、親子で楽しめる様々な参加・体験型のイベントやゲーム、アトラクションが行われ、順番待ちの行列ができるほど多くの来場者が詰めかけた。

親子で楽しめる 多彩なイベント

資を輸送していることなどを紹介し、業界がライフレインの役割を担っていることを強調。その上で、フェスタを通して「業界の本来の姿を見ていただいて理解を深め、少しでも親しみを感じていただければ」と述べた。

野外ステージでは引き続き、業界の最重要課題として「安全宣言」と「エコドライブ」環境宣言などが行われ、この後、警

視庁騎馬隊の乗馬体験など、親子で楽しめる多彩なイベントが行われた。



東京農業大学吹奏楽部・チアリーダー部のステージ



警視庁騎馬隊の乗馬体験



オープニングセレモニーでは浅井会長の主催者あいさつに続き、関東運輸局の高井誠治自動車技術安全部長、東京都・都民安全推進本部の池野谷昌幸総合推進部交通安全課長、渋谷区の長谷部健区長が来賓あいさつ

「トラックフェスタ」特集 5・8面

青木 氏

しては、10月の同推進月
 間中に社会一般などを対
 象に、ラジオなどを通じ
 た広報やその結果を検証
 するためのインターネッ
 ト調査を行うとともに、
 11月には、関東地域連絡
 協議会委員が主催するイ
 ベントへの参画を企画し
 ている。

さらに、年間を通じて
 「特車総合ツイッター」
 による情報配信や、同連
 絡協議会ホームページに
 よる広報を行っており、
 今後も『重量守り、道路
 を守ろう』を合言葉とし
 て、効果的な取り組みを
 実施していく方針。

商業化後の普及時の対応では、3車線区間の右側レーンを専用レーン化することを検討すべきと提言。あわせて、専用の走行空間に直結する隊列形成・分離スペースを備えた物流拠点や、民間施設直結のスマートIC（インターチェンジ）などの整備を検討すべきとした。具体的には、新東名・新名神で物流拠点が集積している、海老名南JCT（ジャンクション）・豊田JCT・城陽JCT周辺などを念頭に整備を検討するよう求めた。

さらに、隊列車両の運行管理のあり方に関して提言。商業化に当たり、複数の事業者による共同運行も想定し、隊列の組み方や運行ルートだけでなく、隊列形成・分離スケジュールのマッチングなどについても検討するよう求めている。

運輸
点描

トラック運送関係の認定・認証制度としては、まず安全性優良事業所認定制度(貨物自動車運送事業安全性評価事業、Gマーク制度)が挙げられるが、事業者によってはこのほかに、いくつか認定・認証を取得しているところが多い。これらに加え、国土交通省は新たに、運転者の職場環境などを評価・認証する制度を創設する。任意とはいえ、認定・認証制度が多くなり、事業者も対応に大変な面があるが、自社の経営改善に資するものと前向きに捉え、積極的に対応することが望まれる。

増える認定・認証制度

トラック運送事業者が取得する認定・認証制度としては、品質マネジメントの国際規格ISO9001や環境マネジメントのISO14001、およびグリーン経営認証制度などがあるが、代表的なものはやはりGマーク制度だろう。Gマーク制度は、全日本トラック協会(全国貨物自動車運送適正化事業実施機関)が平成15年度に創設したもので、認定取得には一定の要件・基準を満たす必要があるが、ハードルは低くはないが、その取得率(事業所数)は約3割まで上昇し、普及してきている。

「職場環境」の評価制度も
経営改善へのステップに

全ト協ではまた、同26年度に引越事業者優良認定制度も創設し、普及に取り組んでいる。こうした認定制度に加え、国土交通省は今年度、トラックなど自動車運送事業者を対象とした新制度「運転者職場環境良好度認証制度」を創設する方針。既に実施団体を日本海事協会にすることが決まっている。

相対的に低位にある運転者の労働条件や労働環境を改善し、必要な運転者を確保・育成するため創設するもので、長時間労働の是正など働き方改革を重視し、いわゆる「ホワイト経営」に取り組む事業者を認証する。

トラック運転者の労働環境の改善に向けては、国土交通省は今年4月から、「ホワイト物流」推進運動を立ち上げ、荷主企業などに対し、労働環境の改善への取り組みを促す狙いだ。

これに先立ち、経済産業省は同29年度に「健康経営優良法人認定制度」を創設し、日本健康会議が大規模法人と中小規模法人別に認定している。トラック運送事業者でも、この認定を受けているところがある。

こうした経産省、国土交通省による新制度創設の趣旨からすれば、今や労働者の健康管理と増進を含めた、広い意味での労働環境の改善が求められているということだろう。

国土交通省は今年4月から、行政による新制度創設に際しても指摘された問題だが、今や業界で普及・後押しすることが目的で、歓迎すべきことのはずだが、対応を求められた事業者側、特に中小の事業者には別の思いもあるだろう。

これら制度の認定・認証取得には、社内体制の整備やそのための人材が必要になり、一定の対応コストもかかる。労働環境を改善する必要があることは分かっているが、思うに任せない経営状況の中でどう対応するか悩ましい問題となる。

また、これら認定・認証取得が、事業経営上どのようなメリットがあるのかといった疑問もある。これは、Gマーク制度に際しても指摘された問題だが、今や業界で普及・定着した制度になっている。業界他社の対応を意識しての側面もあるが、認定取得の取り組みを通じて、安全管理体制の整備・改善、そして実際に交通事故防止などの効果があるからだろう。

国土交通省の新制度についても、認証取得に取り組むことが、労働時間や処遇の見直しなど労働環境の改善へのステップになるはず。さらに認証を受けるには、一定の労働条件などが整った職場であることが必要となる。求職者へのアピールにもなる。もはや、労働環境の改善は避けて通れない問題となっており、前向きに対応に取り組むべきだろう。

(ライター 山上達三)

中小事業者向け
ハイブリッド車補助

国土交通省は9月2日から、平成30年度第2次補正予算による「中小企業向けハイブリッドトラック等導入支援事業」の第3次公募を実施している。導入補助の交付予定枠は、平成30年度第2次補正予算による「中小企業向けハイブリッドトラック等導入支援事業」の第3次公募を実施している。導入補助の交付予定枠は、平成30年度第2次補正予算による「中小企業向けハイブリッドトラック等導入支援事業」の第3次公募を実施している。



国 交 省

第3次公募
12月27日まで

国土交通省は9月2日から、平成30年度第2次補正予算による「中小企業向けハイブリッドトラック等導入支援事業」の第3次公募を実施している。導入補助の交付予定枠は、平成30年度第2次補正予算による「中小企業向けハイブリッドトラック等導入支援事業」の第3次公募を実施している。

補助対象の車両は、事業用のハイブリッドトラック・バスで、今年4月1日から来年1月31日までに初度登録(予定)の車両。補助率は、通常車両価格との差額の3分の1。補助対象の事業者は、資本金3億円以下または従業員数300人以下の中小事業者(自動車リース事業者は、補助対象車両を中小事業者に貸し渡す場合に限る)。

国土交通省は、運輸部門のCO₂削減目標(2030年度までに2013年度比で約28%削減)の達成に向け、環境性能・燃費性能の高いハイブリッドトラックなどの普及を促進するため、中小トラック運送事業者などに、導入費用の一部を補助するもの。

国土省・経産省
トラック輸送
省エネ化補助

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

自動車安全運転センター
証明書手数料
10月から改定

自動車安全運転センターは10月1日から、証明書交付手数料を改定する。改定後の手数料は、従来より1割引き上げられる。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

全ト協

トレーラ大型化
ハンドブック

令和元年 改訂版

全日本トラック協会は、このほど、「トレーラ大型化ハンドブック」の改訂版を作成した。このハンドブックは、平成28年に作成されたが、平成30年度第2次補正予算による「中小企業向けハイブリッドトラック等導入支援事業」の第3次公募を実施している。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

下請へのしわ寄せ
対策など一部改定

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

全ト協
適正取引など
自主行動計画

全日本トラック協会は、このほど、「トラック運送業の適正取引推進、生産性向上及び長時間労働の抑制に向けた自主行動計画」の一部改定した。

国土交通省と経済産業省は、トラック輸送省エネ化補助の第4次公募期限を10月4日まで延長した。この延長は、執行団体のパシフィックコンサルタンツ(PCKK)は10月4日まで、補助申請の受付を行っている。

矢崎の
デジタコ・ドラレコ

巻込みカメラの映像を録画・モニター表示できます!

詳しくは、今すぐお電話を!

矢崎エナジーシステム 特約販売店
世田谷サービス株式会社
本社 03-5727-1600 (担当・青木)
板橋(営) 03-5916-3557 (担当・倉持)
ホームページ http://www.setagaya-yss.co.jp
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

表彰式 12月1日

東ト協広報・情報委員会(鎮目隆雄委員長)は9月17日、東ト総合会館で今年度第3回委員会を開催し、今年度『トラックの日』児童絵画作品コンテストの実施状況や、一般紙への広告掲載などについて説明し、了承した。鎮目委員長は冒頭、本部・支部の協力で『トラックフェスタTOKYO2019』が成功したことに感謝した。

東ト協 広報・情報委員会



表彰式の日

都内70校から304作品応募

児童絵画作品コンテスト

東ト協広報・情報委員会(鎮目隆雄委員長)は9月17日、東ト総合会館で今年度第3回委員会を開催し、今年度『トラックの日』児童絵画作品コンテストの実施状況や、一般紙への広告掲載などについて説明し、了承した。鎮目委員長は冒頭、本部・支部の協力で『トラックフェスタTOKYO2019』が成功したことに感謝した。

上につながらる広報事業を展開していきたい」と述べた。

表彰式の日

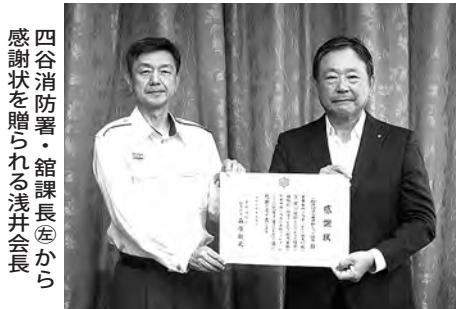
東ト協 第19期 物流経営士課程 修了式

32人が認定資格を取得

東京都トラック協会は9月4日、東ト総合会館で第19期物流経営士課程の修了式を開催し、浅井隆会長が所定の課程を修了した32人に、それぞれ修了証書を授与した。

この後、カリキュラム検討会議・修了認定会議委員の東京都市大学・武田正治名誉教授が祝辞に立ち、「修了した皆さんにはトラック業界を盛り立て、地位向上に貢献することを期待したい」と述べた。なお、同氏は19年間にわたり務めてきたカリキュラム検討会議・修了認定会議委員を、今期で退任することになった。修了生は、次の通り(敬称略、カッコ内は所属会社・団体名)。

青野拓朗(トリーショー)▽阿部晋也(竹内運輸工業)▽池田達郎(神奈川ト協事務局)▽伊藤善成(マルタ流通)▽植原英泰(大坂屋運送)▽栃木▽賀来融(多摩運送)▽勝田正純(光陽ライン)▽金子友之(神奈川)▽神谷聡宏(エス・シー・エス流通)▽河井春樹(五興運輸)▽河田知佳(東京港運送)▽京角正男(国分)▽酒井龍生(川崎陸送)▽笹本裕美(白根運送)▽山梨▽篠崎純(興真運送)▽清水基(ハコブ)▽新保文琴(協同運輸)▽末松晴美(平成通商)▽神奈川▽鈴木哲夫(北多摩運送)▽高橋昭彦(宮島運輸)▽神奈川▽高畑幸司(共立輸送)▽高山和彦(菱倉運輸)▽谷田勇樹(東翔運輸)▽中村美智弘(イズミ物流)▽野中政樹(日本ロジテム)▽馬場崇仁(折一・栃木)▽久富文裕(千代田運輸)▽藤原武郎(多摩運送)▽三浦修大(トヨーエキスプレス)▽村田匡弘(山加・千葉)▽森田俊一(大沢運送)▽埼玉▽若林輝(シンコー)



四谷消防署・館課長(左)から感謝状を贈られる浅井会長

東京消防庁から

救命部長「感謝状」

東ト協は9月9日の「救急の日」に当

東ト協は9月9日の「救急の日」に当

東ト協は9月9日の「救急の日」に当

東ト協は9月9日の「救急の日」に当

東ト協は9月9日の「救急の日」に当

事故防止セミナー

10・11月に計3回

東ト協と全日本トラック協会は、令和元年度事故防止対策セミナーとして、3回にわたり「60

東ト協と全日本トラック協会は、令和元年度事故防止対策セミナーとして、3回にわたり「60

東ト協と全日本トラック協会は、令和元年度事故防止対策セミナーとして、3回にわたり「60

東ト協と全日本トラック協会は、令和元年度事故防止対策セミナーとして、3回にわたり「60

東ト協と全日本トラック協会は、令和元年度事故防止対策セミナーとして、3回にわたり「60

台風被害の千葉県へ 救援物資を緊急輸送

東ト協本部・各支部

東ト協本部・各支部は9月11日から、台風15号の襲

東ト協本部・各支部は9月11日から、台風15号の襲

東ト協本部・各支部は9月11日から、台風15号の襲

東ト協本部・各支部は9月11日から、台風15号の襲

東ト協本部・各支部は9月11日から、台風15号の襲

協会日誌

9月15日

2日 事務局部長会

2日 事務局部長会

2日 事務局部長会

2日 事務局部長会

日程ボード

10月15日

2日 全国トラック運送事業者大会(幕張メッセ国際会議場)

2日 全国トラック運送事業者大会(幕張メッセ国際会議場)

2日 全国トラック運送事業者大会(幕張メッセ国際会議場)

新会員

墨田支部

◆ファーストトラスト

◆ファーストトラスト

軽油の価格

8月分

10日当りの軽油価格

10日当りの軽油価格

東ト協

トラックフェスタ、大盛況 25支部が出展・協力

東京都トラック協会は9月14・15日、代々木公園で「トラックフェスタ TOKYO 2019」を開催し、大盛況だった。フェスタ実行プロジェクト(リーダー・森本勝也副会長、運輸安全委員会委員長)と、そのワーキンググループ(リーダー・中村克敏運輸安全委員会副委員長)が25支部と連携・協力して開催し、昨年を上回る成功を収めた。会場には、各支部が運送の仕事体験やゲーム、物販など趣向を凝らしたブースを出展し、多くの人たちが訪れ賑わった。



安全・環境宣言

フェスタのオープニングセレモニーでは、浅井隆会長や来賓のあいさつに続き、運輸安全委員会の鳥ノ海学副委員長が、安全運転の励行に努め、交通事故ゼロを目指す旨の「安全宣言」を行った。また環境委員会の波多野勝穂副委員長が、グリーン・エコプロジェクトを通じて燃費改善とCO2削減に取り組む旨の「エコドライブ環境宣言」を行い、引き続き、業界の最重要課題として取り組むことを内外にアピールした。



安全・環境宣言を行う鳥ノ海氏(左)、波多野氏(右)



点呼や納品・検収などを体験



仕分け・時間管理などのゲーム



子供向けワークショップや物販



トラックへの積み下ろし作業体験



交通安全射的やスパーボールすくいなど



東日本大震災・復興支援の物販

SDコンテスト感謝状 GEPToppランナー優秀賞



神係長と中野支部の中根支部長(左)



浅井会長と竹内氏(左)、関根氏(右)

オープニングセレモニー後、警視庁交通部主催「セーフティドライバー・コンテスト」(SDコンテスト)の表彰が行われ、成績優秀支部として10支部に交通部長感謝状、また八丈島支部に協会長特別賞が贈られた。代表として、中野支部の中根俊幸支部長に対し、警視庁交通部交通総務課の神賢也交通安全組織係長から感謝状が手渡された。成績優秀支部は千代田・港・世田谷・新宿・中野・北・深川・城東各支部、および東京環境保全協会・全国物流ネットワーク協会、引き続き、「グリーン・エコプロジェクト」(GEPTopp)ランナー優秀賞「表彰が行われ、受賞の金城運輸・関根誠主任と丸勝運輸・竹内義明取締役に対し、浅井会長から表彰状が贈られた。

トラック事故速報

死亡事故

問い合わせ先：東京都トラック協会 運行管理部 ☎03-3359-3618

●車両を後退させる際は、周囲の歩行者等の動向に注意を払い、安全確認を怠らないこと!!

日時	8月29日(木) 8時30分頃発生(晴天)
場所	福生市内(市道)
当事者	歩行者(男性50代死亡)×事業用準中型貨物車(男性30代)
状況	
概要	事業用準中型貨物車が、車両後方にいた歩行者を未発見のまま後退したため、轢過したもの。

●深夜早朝は幹線道路を横断歩道外でも渡る歩行者等がいることを常に意識し、前方を注視し走行すること!!

日時	9月2日(月) 5時21分頃発生(晴天)
場所	台東区内(国道4号線)
当事者	歩行者(女性80代死亡)×事業用中型貨物車(男性40代)
状況	
概要	横断歩道の設けられていない交差点を通行中の事業用中型貨物車が、左から右へ横断していた歩行者と衝突したもの。

東ト協 女性部



有効だが、その前提となる交通需要マネジメント(TDM)が十分でない状況で行った場合、都民生活に大きな影響が生じるおそれがあるとし、TDMへの一層の協力を呼びかけた。

●国土交通省、貨物自動車運送事業法の改正事項のうち、①規制の適正化②事業者が遵守すべき事項の明確化に関する省令などを公布・発出。11月1日から、改正法関係規定とあわせて施行する(1日)

●東京都港務局、東京2020大会開催時に円滑な港湾物流を確保するため、「スムーズビズ」中取組期間に、臨海部周辺地域の交通混雑対策のトライアルを実施する(19/30日)

東ト協女性部(原玲子本部長)は9月3日、東ト総合会館で、令和元年度「交通安全」研修会を開催し、警視庁交通部の利穂佑起管理官が「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における交通対策」と題して講演した。同氏は、開催時の交通マネジメントが難しい問題となっており、輸送・交通対策が大会成功のカギを握るとした上で、対応について説明した。TSMは交通量削減に有効だが、その前提となる交通需要マネジメント(TDM)が十分でない状況で行った場合、都民生活に大きな影響が生じるおそれがあるとし、TDMへの一層の協力を呼びかけた。

●国交省、ダブル連結トラックの対象路線となる区間を、東北自動車道から九州自動車道まで拡充する(8日)

●東京都と東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、第9回輸送連絡調整会議を開催し、開催時の円滑な交通確保に向けた追加対策として、首都高速道路における料金上乗せ(1000円上乗せ)物流車(5割引)や、夜間割引(5割引)の料金施策を示す(27日)

「交通安全」研修会 五輪TDMの推進を

を関係者輸送と観客輸送の各ルートに分け、高速道路では車両流入量の調整を行うとともに、一般道路では専用レーンや優先レーンを設定する。また駐車対策や信号調整のほか、会場周辺での通行規制などを実施する。

動向 ファイル

◇8月分◇

人事制度の概要と、これに伴う関連規程の改正案、および「会長候補者の選出に関する規程」改正案を承認する(20日)

●警視庁、貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直しを行い、集配中の貨物車に限り駐車を認める専用スペースを順次設置すると発表。今年度の実施場所は52か所(駐車枠数は78枠)で、実施時間はおおむね午前9時から午後9時まで(21日)

東京運輸支局長 自動車運転者表彰



東ト協関係49人が受賞

松元武(三榮商會・中央)
▽石塚宣明(同)▽白倉義之(東紅流通センター・中央)
▽藤原浩志(アドバンス芙蓉・板橋)▽片桐一雄(同)▽森屋秀春(高宮運輸・板橋)▽菅野悟(山一運輸・板橋)▽佐藤清文(北斗システム輸送・板橋)
▽藤堂摩樹(同)▽亀居守(DNPロジステイクス・北)▽奥村健二(照国運輸・北)▽勝俣光朗(同)▽坂本宣幸(上野運輸・北)▽清水聡(同)▽奥田弘(西町運送・北)▽橋茂(同)▽藤巻一直(同)▽北村光夫(同)▽桐生知幸(和宏運輸・北)▽吹越広一(同)▽吉澤洋(ALSOK関東デリバリー・足立)▽佐藤雅俊(同)▽萩中秀一(同)▽野口裕二(同)▽海老原正之(トリーショー・多摩)▽上瀧邦夫(同)▽佐藤和弘(トヨタ輸送関東・多摩)▽田端義幸(同)▽丸山薫(トラス・ウィン・多摩)▽曾根泰幸(同)▽木村広文(同)▽篠宮章二(永山運送・多摩)▽青柳秀(古川商事運輸・多摩)▽田村護(同)▽井上貴洋(佐藤清運・多摩)▽秋山哲也(同)▽村田和由(同)▽下村好和(鎗田運輸・多摩)▽吉田友彦(同)▽椋田直行(同)▽佐野猛志(タマ・ミルキィウェイ・多摩)▽坂本学(同)▽柴田一宝(北多摩運送・多摩)▽小野寺好実(同)▽二瓶重雄(同)▽馬場利明(同)▽八木藤雄(同)▽齋藤弘男(同)▽米山義孝(柳沢運輸・多摩)

東京運輸支局は9月9日、品川区立総合区民会館「きゅりあん」で、令和元年「自動車運送事業運転者表彰式」を開催し、トラックなど4部門合計で262人を表彰した。東京都トラック協会関係では49人が受賞。トラック部門を代表して、トラス・ウィン(多摩支部)の木村広文氏が、高山和征支局長から表彰状を授与された。

高山支局長は式辞で、「生産年齢人口が減少していく中、労働力の確保は重要な課題で、高齢化の進行が顕著なドライバー不足は業界全体の深刻な問題」と指摘した上で、受賞者に対し「プロドライバーの模範として安全運転を心がけ、輸送サービス向上に貢献していただきたい」と述べた。

さらに、行政としても「ドライバーという職業を、やりがいのある多くの人が憧れる仕事にしていきたい」とした。

表彰式には、東ト協の浅井隆会長や警視庁交通部の川上薫参事官らが来賓出席。浅井会長は祝辞で、「今後とも無事故無違反を継続し、他の模範として一層のご活躍をお願いする」と述べた。

東ト協関係の受賞者は次の通り(敬称略、カッコ内は会社名・支部名)。

国土交通省自動車局はこのほど、全日本トラック協会に対し、通達「踏切で衝突事故安全確保を達成」を交付した。これは、踏切で発生した衝突事故の発生件数が、前年比で減少したことを評価し、安全確保の取り組みに敬意を表するとともに、今後も安全確保の取り組みを継続してほしいと求めている。

9月5日に京急線の踏切内で、トラックと快速列車の衝突事故が発生した。

これを受け、通達では、運転者に対して点呼時や指導・監督などにおいて、通行が可能な経路の選択をはじめ、安全確保のためには必要指示を行うことなどを徹底するよう求められている。

国交省 踏切で衝突事故 安全確保を達成

営業用トラック関与の交通事故の特徴

違反別		営業用トラック関与の交通事故														計	
		安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	右左折	その他						
発生件数	大型	1当件数	67	52	14	4	0	9	4	0	46	196					
		関与事故件数	64	46	18	4	0	8	4	0	85	229					
		(前年比)	-61	-11	-8	+1	-1	-11	-1	±0	-13	-106					
	中型	1当件数	61	56	17	3	0	14	4	0	48	204					
		関与事故件数	61	50	22	3	0	13	4	0	83	237					
発生件数	小型	1当件数	-18	-16	+3	-9	-2	-3	-2	±0	±0	-34	-81				
		関与事故件数	108	64	28	12	1	15	11	1	78	319					
		関与事故件数	111	58	33	12	1	15	10	1	166	408					
		(前年比)	-5	-44	-2	-7	-1	-5	+3	±0	-20	-80					
	普通	1当件数	263	116	119	20	9	34	14	3	129	707					
死者数	軽	関与事故件数	268	105	136	20	9	34	13	3	341	929					
		(前年比)	-8	-41	+2	-3	-3	-2	+2	+1	-1	-40	-93				
	合計	1当件数	499	288	178	39	10	72	33	4	301	1,426					
		関与事故件数	504	259	209	39	10	70	31	4	2	675	1,803				
		(前年比)	-92	-112	-5	-18	-7	-21	+2	+2	-2	-107	-360				
死者数	大型貨物車(1当)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2					
	中型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1					
	普通・軽貨物車(1当)	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	4					
	合計	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3					

注：営業用貨物車の関与事故件数は、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

令和元年8月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は、2万421件で前年同期比1,161件減少し、死者73人で同8人の減少となった。

営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の下段「注」参照)発生件数(本年累計)は、1,803件で前年同期比360件減少し、死者数は10人で前年同期と同人数となった。

事故類型別では、右左折時の車両相互事故が231件で前年同期比6件減少し、死者数は1人だった。

違反別では、安全不確認による関与事故件数が504件で、前年同期比92件の減少となっている。



歩行者優先など
ルール遵守徹底を

警察庁はこのほど、全日本トラック協会に対し、日本トラック協会に対し、「信号機のない横断歩道における歩行者優先等を徹底するための取組について」(協力依頼)を发出した。

来年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、歩行者優先が定着している諸外国からの観光客増加が見込まれるため、プロドライバーとして、横断歩道手前での減速義務や歩行者優先義務の遵守など、模範となる運転を実践するよう求めている。

大切なものを大切に運ぶために
万が一の安心補償と安全推進サポートで
トラックの未来を支えます

「運ぶ」を支える応援団

明日へ！未来を守る

Bright future for every child

明日へ！未来を守る

●トラックの自動車事故損害賠償と交通事故防止●
関東交通共済協同組合
http://www.kankokyo.or.jp

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-21-20
TEL.03-5337-1750 FAX.03-5337-1765



訪巷話

ルポライター
飛鳥井 恭司

「防災の日」の9月1日。各地で防災訓練が行われたが、この日は、1923(大正12)年に関東大震災が発生した日。「地震・雷・火事・親父(親爺)」とは、昔から怖いものの代名詞だった。

家制度時代での親爺とは「怖い」威厳のあることを示していたようだが、それも過去の話。雷に自然災害(台風・大雨など)を含めて拡大解釈すれば、今でも十分に通用する。上位3つは現在でも不動だが、4つ目の親爺の地位は大きく下落し、例えば「地震・雷・火事・電池切れ」のように、その時々でフレーズを入れて使われている。とにかく、自然災害に見舞われている日本、それから身を守る事が大切だ。

首都直下地震が、今後30年以内に70%程度の確率で発生する

地震、大雨など自然災害に備える



まずは水の確保から

るかどうかはおぼつかない。防災の日や大規模災害などでは「対応しなければ」と考えるが、日常的にはおろそかになってしまふ。今一度、点検してみよう。

水や食料などは3日分の備蓄が必要とされ、大都会のように、広い範囲で被害が想定される地域では1週間分の備蓄が必要とされる。人が1日に必要とする水は約3リットルという。水分補給の大切さは、過ぎてしまうと忘れがちになる。

飲料メーカーの調査では、備蓄ゼロの家庭が約半数というデータもある。さらに生活用水(例えばトイレ用)の確保となると、風呂の残り湯がメインとなるだろう。

農林水産省の「食料の家庭備蓄をめぐる状況」(平成30年)によると、災害発生でライフラインが停止した場合の備えとして、飲料水を最低限1人1リットル、乾パンや調理しない食糧、アルファ化米なども3食分を用意しておくべきだという。発生から3日分となると、さらに多くの飲料水や食料品が必要になり、カセットコンロなどの熱

9月9日に、千葉県付近に上陸した台風15号による通信環境への被害は、ネットワーク社会での情報の重要性を改めて知らされた。

大都市で大規模被害が発生すると、自治体や国の公助だけに頼るわけにはいかず、自ら対処する必要がある。この「自助」が重要だが、頭では分かっているのに十分に対応できるか、その準備ができてい



大規模被害が発生すると、自治体や国の公助だけに頼るわけにはいかず、自ら対処する必要がある。この「自助」が重要だが、頭では分かっているのに十分に対応できるか、その準備ができてい

都が水害対策で作成「東京マイ・タイムライン」



「三国志」展でも紹介



川本喜八郎人形ギャラリー

創作関連の展示も多く、特徴的な人形も展示されていました。これは、アニメーション作家で人形作家の川本喜八郎氏が美術担当をした、NHK『人形劇 三国志』に登場していたものです。人形の動きで色々な表情を見ることができ、大人でも楽しめる人形劇でした。

川本氏は、渋谷区住所：渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ8階 開館時間：午前11時～午後7時 休館日：無休(年末年始・展示入れ替え時期を除く) 入館料：無料

ポケット

重慶度によって、保険でカバーする薬の費用が変わり、抗がん剤なら自己負担はゼロですが、ビタミン剤などは全額自己負担です。前述の連合会では負担を全世代で分かち合う

先頃、企業で働く人が加入する健康保険組合の連合会が、花粉症の薬など薬局で買えるものは、全額自己負担にすることを提言しました。花粉症の薬などをクリニックで処方してもらうと、直接、薬局で買うより安くなるのですが、それは、サラリーマンの場合、医療機関での窓口負担が3割で済むためです。しかし、その分、医療費がかさみます。

消費税だけでは終わらない 医療負担どうするか

介護保険料に ついても、65歳以上の高齢者の多くは1割負担ですが、厚生年金を含めた年金受給額が多い人だと、2割以上負担している場合もあります。国の検討会で今後、2割以上負担する人のすそ野を広げることが検討されるかもしれません。10月から消費税率が10%に引き上げられますが、高

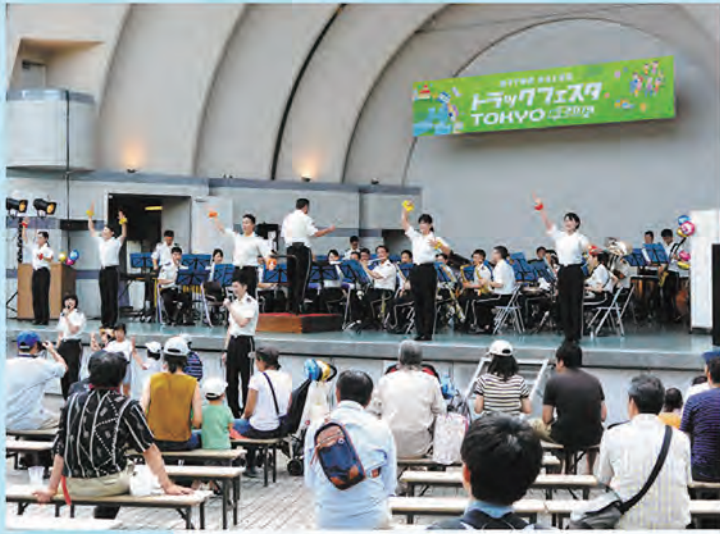
そうだったのか 医療と介護 第6回 医療ライター 西 健悟

「医療を多く使う高齢者はもつと払っていいのでは」と思ふかもしれませんが、年金収入のみの生活で、例えば月4000円だった医療費が8000円に上がるのと厳しいわけですね。国民年金のみの人なら、なおさらです。介護保険料についても、65歳以上の高齢者の多くは1割負担ですが、厚生年金を含めた年金受給額が多い人だと、2割以上負担している場合もあります。国の検討会で今後、2割以上負担する人のすそ野を広げることが検討されるかもしれません。10月から消費税率が10%に引き上げられますが、高

目次

わが国のアキレス腱といえる「石油」であるが、石油は輸入に頼らざるを得ない。かつての戦争も、石油というエネルギー不足が大きな要因であったことは常識になっている。このところ、やや落ち着いたかと思っていたら、サウジアラビアの石油関連施設が攻撃され、大炎上した。また「中東戦争勃発か」と懸念される不安な状況が続いている。昭和48年に、第4次中東戦争により起こった第1次石油ショック、そして第2次石油ショックと続き、石油価格が大幅に値上がりして、トラック事業経営に大打撃を与えた。その記憶がまだ残る。今回のサウジアラビアでの事件は、これからどう展開するのか見守るしかないが、中東に石油を頼る度合いが大きい、わが国としてはその沈黙化を祈るのみである。石油をエネルギーとするトラックが商売道具である限り、どうにか穏やかな着地ができるよう祈りたい。報道によれば、幸い、今回のサウジ事件による石油価格の変動は「酷いことにはなりそうもない」と伝えられている。ぜひ、そうあってほしい。再び、悪夢は味わいたくない。

賑わうトラックフェスタ



警視庁音楽隊のステージ



東京農業大学応援団の大根踊り

金管六重奏
でこぼこプラスの演奏

「魔法園児マメルワタル」の交通安全ビンゴ大会



森本副会長

フェスタ閉幕に当たり、野外ステージでクロージングセレモニーを開催。あいさつに立ったフェスタ実行プロジェクトのリーダー・森本勝也副会長は「盛会裏にフィナーレを迎えることができた」と述べ、後援・協力の関係行政・団体や協賛の企業・団体をはじめ、25支部の会員や協会職員の取り組みに対し、感謝の意を示した。

その上で「フェスタを通じて本部と支部が一体となり、一つのことを成し遂げようとするパワー、東ト協の底力を感じた」と開催の意義を強調。さらに「浅井会長からは“継続こそ力”という力強い言葉をいただいている」とし、来年に向けた決意を示した。

見て、参加・体験して！
多くの都民が詰めかける



トラック型のふわふわ遊具



荷積み・荷下ろし体験



東京都環境局など環境関連ブース



トラック乗車体験



トラックディーラー各社による車両展示



（協賛・展示）
いすゞ自動車首都圏圏▽東京日野自動車▽三菱ふそうトラック・バス南関東ふそう▽UDトラックス▽東京ガス▽関東陸運振興センター▽パンフレット▽ロケット▽東京都自動車整備振興会▽東京都トラック運送事業協同組合▽自動車事故対策機構▽三多摩自動車協会▽東陸事業協同組合▽ヨシオ▽ロッテ▽関東交通経済協同組合▽東京自動車販売協会▽あんしん財団▽東京都自動車会議所▽タダノ▽矢崎エナジーズ▽テム▽アスア▽サッポロビール▽あいおいニッセイ同和損害保険▽東京海上日動火災保険▽損害保険ジャパン日本興亜▽コベルコ建機▽コベルコ建機日本▽三井住友海上火災保険東京支店東京東第一支社▽セブンイレブン▽ジャパン▽カーゴニュース▽東武ホテルレバント東京▽日本流通新聞▽物流経済▽物流ニッポン▽物流ウィークリー（順不同）

（後援）
東京都▽環境省▽関東運輸局▽東京運輸支局▽警視庁交通部▽渋谷区▽東京商工会議所
（協力）
警視庁代々木警察署▽全国石油商業組合連合会▽東京都石油商業組合

